【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2010-240035(P2010-240035A)
【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2010-043
【出願番号】特願2009-89520(P2009-89520)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/04　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３００Ｙ
Ｇ０２Ｂ　7/04　Ｅ
Ａ６１Ｂ　1/04　３７２
Ｇ０２Ｂ　7/08　Ｂ
Ｇ０２Ｂ　7/08　Ｚ
Ｇ０２Ｂ　7/08　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月21日(2012.3.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象物を撮像するための内蔵物を保護する保護部材と、
伸縮動作可能なアクチュエーターと、
先端と基端とを有する柱状に形成され、前記アクチュエーターと前記基端とが接続された駆動部材と、
前記駆動部材の外周面に摩擦係合され、且つ、前記アクチュエーターの伸縮動作により前記駆動部材上を長手方向に移動可能な被駆動部材と、
前記保護部材の表面形状に沿うように配置された固定子と、前記被駆動部材に固定され、前記固定子に対向して配置された移動子とを有する位置検出部と、
を備えた駆動機構。
【請求項２】
前記アクチュエーターは、一方向にのみ伸縮動作するものであることを特徴とする請求項１に記載の駆動機構。
【請求項３】
前記アクチュエーターは、圧電アクチュエーターであることを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の駆動機構。
【請求項４】
前記固定子は、前記保護部材の外表面に設けられた平面部位に設けられていることを特徴とする請求項１乃至請求項３のいずれかに記載の駆動機構。
【請求項５】
前記固定子は、前記保護部材の内表面に沿って設けられていることを特徴とする請求項

１乃至請求項３のいずれかに記載の駆動機構。
【請求項６】
前記固定子、及び前記移動子は、静電エンコーダーであることを特徴とする請求項１乃至請求項５のいずれかに記載の駆動機構。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれかに記載の駆動機構を備えた内視鏡装置。
【請求項８】
前記固定子と前記移動子との移動変位量を計測する計測部と、
前記アクチュエーターに対して駆動パルスを送信する駆動制御部と、
を備え、
前記駆動制御部は前記計測部において計測された前記移動変位量のフィードバックを受けて次に送信する前記駆動パルスを決定することを特徴とする請求項７に記載の内視鏡装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本実施態様にかかる駆動機構は、対象物を撮像するための内蔵物を保護する保護部材と、伸縮動作可能なアクチュエーターと、先端と基端とを有する柱状に形成され、前記アクチュエーターと前記基端とが接続された駆動部材と、前記駆動部材の外周面に摩擦係合され、且つ、前記アクチュエーターの伸縮動作により前記駆動部材上を長手方向に移動可能な被駆動部材と、前記保護部材の表面形状に沿うように配置された固定子と、前記被駆動部材に固定され、前記固定子に対向して配置された移動子とを有する位置検出部と、を備えるものである。